

環境経営学会・オリックスグループ共同開催シンポジウム

☆☆ エコプロダクツ2009同時開催☆☆

鳩山イニシアチブ実現のために ～二酸化炭素 25%削減への道すじ～

新政権は「2020年の中期目標について1990年比CO2削減25%」を明言し、国際的にも総じて高評価を得ています。「我が国のみが削減目標を掲げても気候変動を止めることはできない。すべての主要国が参加した目標合意が国際社会への約束の前提だ」と指摘していますが、国内に向けては具体策として;

①企業間で排出枠を売買する排出量取引制度、②地球温暖化対策税(環境税)の導入、③オバマ政権のグリーン・ニューディール構想を念頭に「環境と経済の両立」を目指していくものと思われます。

シンポジウムでは、このような動向及び国際的な潮流に鑑み、「25%削減の可能性」を問うのではなく「いかに削減するか」をテーマに、前向きな議論を国際的な視点と豊富な削減事例を紹介しながら展開してゆきます。

2009年12月11日(金) 13:30～17:00 東京ビッグサイトレセプションホール A

主催: 特定非営利活動法人環境経営学会・オリックスグループ

～プログラム～

13:00～13:30 受付

挨拶

13:30～13:40 環境経営学会会長・東京大学生産技術研究所 教授 山本 良一
(エコプロダクツ2009 実行委員長)

13:40～13:50 オリックスグループ 取締役兼代表執行役社長・グループCOO 梁瀬 行雄

第I部 基調講演 :「グリーン・リカバリーの新しい発想」

13:50～14:50 講師: 千葉商科大学政策情報学部 教授 三橋 規宏氏
(14:50～15:00 休憩)

第II部 パネルディスカッション :「二酸化炭素 25%削減への道すじ」

15:00～16:50 パネルディスカッション

【パネリスト】(順不同)

◇特定非営利活動法人 気候ネットワーク代表 浅岡 美恵氏

◇日本IBM株式会社 執行役員 久世 和資氏

◇立命館大学教授・立命館孔子学院学院長 周 瑋生氏

◇雑誌「オルタナ」編集長 森 摂氏

◇千葉商科大学政策情報学部 教授 三橋 規宏氏

【モデレーター】

◇ブレーメン・コンサルティング(株) 代表 (環境経営学会 理事) 岡本 享二

総合司会: 野村佐智代 (埼玉学園大学准教授 環境経営学会会員)

【参加お申込み方法】

- 所定事項(企業名、所在地、参加者の所属・役職・氏名、TEL、FAX、E-mail)を記載のうえ、E-mail (smf@smf.gr.jp) または別紙により FAX(03-5444-2056)で環境経営学会シンポジウム実行委員会までお申込みください。(個人情報、当シンポジウム運営の為にのみ使用させていただきます。)
- 入場無料。参加お申込みは先着順、定員(400名)になり次第、締め切らせていただきます。
- 参加証は発行致しません。当方より連絡がない限りは参加を受付させていただいたものと致します。

【お問合わせ先】特定非営利活動法人 環境経営学会 TEL:03-5444-2055、FAX:03-5444-2056